



ベトナム

株式会社ラクエインターナショナル（長野県川上村）



農業

日本の農業で、ベトナムの豊かな社会づくりに貢献する



取締役

荒井 久

企業プロフィール

日本有数の高級レタス産地として知られ、農家の平均年収は2,500万円を超えるという長野県川上村。この地で高品質な「天空レタス」等を栽培する農業法人・株式会社ラクエの海外展開を担う企業として活動している。2014年設立。

ベトナムのダラット市のレタス農園

「安心・安全・おいしい」を伝える販路開拓に成功

ベトナムのレタスの品質は、日本と比べて雲泥の差があります。葉はくたくたで、農薬を取り去るために洗剤で洗ってから食べるのが一般的です。現地の食卓に、安心・安全でおいしいレタスを届けたい。そんな想いから、川上村と気候が似たダラット市で、日本のレタスを栽培する事業を始めました。まず、現地で近代農業を経営するベトナム農業法人とパートナーを組み、2014年1月に試験栽培をスタートさせました。その後、4月上旬には合弁会社を設立し、同時期に出荷可能なレベルのレタス栽培に成功しました。

しかし、課題はここからでした。収穫したレタスを「どこに」「どのように」売るかという、販路開拓のストーリーが描けていなかったことに気付いたのです。そこで、本サービスに申し込み、渡辺専門家の力をお借りしました。同専門家は現地で長くバイヤーを務めた経験を活かし、生産者と販売者がwin-winの関係になる形での企画提案を行ってくれました。たとえば、イオンモールに日系企業やメディアを招いてB to Bの試食会を実現したり、広報ツールを制作して現地企業とのタイアップ広告を出したりするなど、限られた予算の中でさまざまな施策を提案していただきました。

現地の生活向上に貢献できる農業モデルを作りたい

特に試食会を行った際、専門家のアドバイスで来場者にアンケートを実施したのですが、これがその後の量販店との交渉材料として非常に役立ちました。実は栽培や保冷輸送にコストがかかるため、私たちのレタスの販売価格は現地の倍以上になってしまう見込みだったのです。しかし、試食会で実績を残せたことにより、交渉を重ねた末に、2倍以上の販売価格でも定番商品として取り扱ってもらうことができました。

現在のベトナムは人口の約70%が農業労働者ですが、農業の質はまだ低く、農民も貧しいのが現状です。私たちの夢は、高収入を生み出す日本の農業モデルを通じて、彼らの生活レベルを向上させることです。そしてその輪をASEAN全域に広げ、様々な国の食卓に日本の農業のノウハウを活かした「安心・安全・おいしい」を届けつつ、現地に新たな雇用を創出することで、豊かな社会づくりを実現する農業モデルを構築したいと考えています。

サービス利用の
メリット

現地の日系量販店との取引が成立し、
手つかずだった販路の開拓が実現できた。

専 門 家 INTERVIEW



専門家プロフィール 渡辺 幹夫

大手小売業で店長やバイヤーとしてアジアからの商品開発輸入に携わり、タイ駐在や出身小売業のアジア展開における経験を基に、海外進出アドバイザーとして独立。アジアでの広大なネットワークと強力な現地視点マーケティングで、現在はジェトロの専門家として活躍中。

240名の専門家による総合力で各企業に適した「個別対応」を

ジェトロの支援の強みは、240名もの専門家を擁していることです。その全員が培ってきたノウハウや人脈を結集でき、さらに各方面から常に客観的で幅広い情報がアップロードされています。海外進出支援を求める中堅・中小企業の事情や経営者の考え方は様々なため、こうしたジェトロならではの総合力を活かすことで、それぞれの業種や目的に応じた「個別対応」の支援が可能になります。

今回のラクエ社の支援にあたっては、私自身の人脈とジェトロが持つ情報網を活かして取り組みました。特にB to Bの試食会の開催にあたっては、現地の情報を取り寄せて、売り込み先のリストを作成しました。その結果、日系の小売業や飲食業、さらに現地メディアからの集客に成功し、好反応を得ることができました。

▶ 進出段階と支援内容



- 販路開拓の戦略立案と現地企業の情報提供
- 現地量販店との取引に関する交渉のサポート